

# 研修旅行レポート

～三重県神社参り・日本財務管理学会参加～

## 伊勢の朝

### 伊勢神宮

鳥居をくぐると神秘的な境内が私たちを迎えてくれました。境内は、お社を守るように木々が生えていました。一本一本手入れされた木々は工芸品のようでした。お社は、落ち着いた雰囲気があり木々の中で静かに眠るように建っていました。その姿は、いつまでも眺めていたいそんな気持ちにさせました。



## 熊野世界遺産

### 花の窟神社

日本最古の神社といわれ三重県無形文化指定にされている神社の入口付近は、意外にもひっそりとしていました。しかし、境内を進んで行くとそこには大きな岩がありました。岩とは思えない雰囲気を醸し出し静かに見守るようにそびえ立っていました。

### 熊野速玉大社

他の神社に比べたらインパクトには欠けませんが洗練された綺麗な神社でした。他の神社では、圧倒されてばかりでしたので何か安心させる雰囲気がありました。

### 熊野那智大社

山頂付近に建設してあり、風景が絶景でした。境内には、何百年生きているか想像も出来ない木が生えていました。木には人がくぐり抜けることが出来る穴があり初めて木の中に入る体験が出来ました。そして熊野那智大社から見える那智の滝は、山を割っているようでした。



# 日本財務管理学会

～35回秋季全国大会～

## プログラム

### 自由論題報告

第1報告 10:00～10:55	「ドイツ企業におけるコンプライアンス・オフィサーの独立性と権限」
第2報告 11:00～11:55	「ROICとEV/EBITDA倍率による投資戦略」 ーリーマンショック前後に組成したポートフォリオによる検討ー

12:00～13:00	昼食
-------------	----

### 記念公演

14:00～14:50	「リーマンショック以降の中小企業における財務管理」
-------------	---------------------------

### 統一議論報告「グローバル競争下での企業価値評価」

15:00～15:30	「グローバル競争下での企業価値評価ー企業価値から顧客価値へ」
15:30～16:00	「リーマンショック以降の中小企業財務」
16:00～16:30	「企業価値の日独比較ーそのコンポーネント」
16:00～16:30	総括と質疑・応答

17:40～19:30	懇親会
-------------	-----

## 学会

私たちは、12時に近畿大学に着き午後から学会に出席しました。公演してくださった方々は、「中税理士事務所：中 都志子氏」「立命館大学：松村 勝弘氏」「淑徳大学：伊藤 忠治氏」「学習院大学：小山 明宏氏」の講演を聞きました。

- ・中 都志子氏「リーマンショック以降の中小企業における財務管理」  
日本企業数の8割以上占める中小企業について、リーマンショックから現在に至るまで、そして今後の課題と税制について。
- ・松村 勝弘氏「グローバル競争下での企業価値評価－企業価値から顧客価値へ」  
企業価値、企業評価（将来キャッシュ・フローの割引現在価値の構造）とは何かと問題点、そして真の企業価値は何かについて。
- ・伊藤 忠治氏「リーマンショック以降の中小企業財務」  
企業評価は、「誰が」「どんな目的」「どんな方法」で行っているのか。評価は、環境によって変化するのか。評価の結果で企業は、適正な利益を享受しているのか。大企業と中小企業の企業評価は、同一基準で比較することが適正なのか。グローバル化、IT化、多様性の視点からリーマンショック以後の中小企業の財務分析について。
- ・小山 明宏氏は、「企業価値の日独比較－そのコンポーネント」  
日本とドイツの企業評価の違い、ドイツの大学の企業評価論の講義内容、各ドイツ大学について。

## 考察

今回研修旅行に行き圧倒され感慨深い旅行でした。

伊勢と熊野の神社参拝は、圧倒されてばかりでした。歴史ある社、木々、滝と普段では見慣れない風景が私たちを歓迎しているようでした。神社に馴染ない私でもまた行ってみたいと思う場所でした。

近畿大学で行われた学会では、考えに耽る時間でした。私には、先生がたのお話に付いていくのがやっとで到底「理解出来た」と言えませんでした。先生の皆様が研究し考察し結果を出して臨んだ学会を、現時点での私が理解できるなんておこがましいのかもしれませんが。しかし、将来的には理解し今回の研修旅行で知り合えた先生方と討論出来るようになっていきたいです。